

重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

取組項目(中項目)	2 ファシリティマネジメントの考え方に基づいた財産経営の推進		No.	47		
具体的な取組項目(小項目)	2 計画的な維持保全による公共施設などの長寿命化の推進		担当課	財産活用課● 施設課 (公共建築第1課) (住環境政策課)		
改革実施項目名称(細項目)	計画的な維持保全による公共建築物の長寿命化、維持管理効率化の推進					
現状と課題 (これまでの取組み)	【学校】 児童生徒の急増期に建て、建築後30年以上の老朽化が進んだ校舎が半数を超え、これから更新時期の集中が懸念される。 教育環境を維持しながら老朽化対策を進めるには既存施設の有効活用並びに、更新コストの抑制を目指す「長寿命化改修」が必要となっており、平成26年度に「学校施設長寿命化指針」を策定します。					
事業の目標・目的 (考えられる効果)	≪計画期間の目標≫ 学校施設の長寿命化指針を反映した整備計画の作成と実施 ≪事業の最終目標≫ 学校施設の長寿命化による効率的、効果的な施設更新と教育環境の確保					
取組の内容	・学校施設長寿命化指針の策定とこれに沿った学校施設整備計画(3年間)を作成 ・整備計画に基づく各施設の点検・調査の実施					
改革実施概要	現状 (平成26年度)	平成27年度		平成28年度		中間目標/ 29年度以降
	取組工程 (具体的な内容)	計画	実績	計画	実績	
	学校施設の長寿命化指針を策定	長寿命化指針の考え方を反映した整備計画を作成	長寿命化指針の考え方を反映した実施計画案を作成	整備計画の点検、実施	学校施設長寿命化指針及び長寿命化実施計画を策定、及び整備計画の点検・実施	整備計画の点検、実施
指標	長寿命化指針の策定	反映した整備計画の作成	反映した実施計画案の作成	整備計画の点検・実施	整備計画の点検・実施	整備計画の点検・実施

進捗管理	(各年度10月に実施)		平成27年度		平成28年度		※平成29年度上半期に計画期間の中間評価を実施する。
	取組の状況	上半期 (4~9月)	整備計画の策定に向け、学校施設の老朽度を判定するための現地調査を実施	予定通り進捗	学校施設長寿命化指針及び長寿命化実施計画を策定 上記を次年度予算要求に反映	予定通り進捗	

年度評価	(年度終了後に実施)		平成27年度		平成28年度	
	取組工程、指標に対する評価		・学校施設長寿命化実施計画案を作成した。	B	・計画策定や点検実施により、計画的に長寿命化を推進することができた。	B
	課題、今後の方針、改善事項など		・実施計画に基づく事業の実施 ・実施計画の点検や適切な更新		・整備計画に基づく事業の実施 ・整備計画の点検や適切な更新	

計画期間の中間評価	(平成29年度に実施)		中間評価			平成29年度以降
	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)		学校施設の現地調査を踏まえ策定した指針及び整備計画を公表し、次年度以降の大規模改造事業の予算要求及び事業化へつなげることができたことから、計画通りの指標となった。		B	予算化や各学校施設の現況により、適宜整備計画の見直しを行うことで、実効性の高い計画としていく。
課題、今後の方針、改善事項など		長寿命化を図るべき施設の選定について、関係部署と協議しながら進めていくことが求められる。				

重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

取組項目(中項目)	2 ファシリティマネジメントの考え方に基づいた財産経営の推進		No.	47		
具体的な取組項目(小項目)	2 計画的な維持保全による公共施設などの長寿命化の推進		担当課	財産活用課● 施設課 (公共建築第1課) (住環境政策課)		
改革実施項目名称(細項目)	計画的な維持保全による公共建築物の長寿命化、維持管理効率化の推進					
現状と課題 (これまでの取組み)	【学校】 児童生徒の急増期に建て、建築後30年以上の老朽化が進んだ校舎が半数を超え、これから更新時期の集中が懸念される。 教育環境を維持しながら老朽化対策を進めるには既存施設の有効活用並びに、更新コストの抑制を目指す「長寿命化改修」が必要となっており、平成26年度に「学校施設長寿命化指針」を策定します。					
事業の目標・目的 (考えられる効果)	≪計画期間の目標≫ 学校施設の長寿命化指針を反映した整備計画の作成と実施 ≪事業の最終目標≫ 学校施設の長寿命化による効率的、効果的な施設更新と教育環境の確保					
取組の内容	・学校施設長寿命化指針の策定とこれに沿った学校施設整備計画(3年間)を作成 ・整備計画に基づく各施設の点検・調査の実施					
改革実施概要	現状 (平成26年度)	平成29年度		平成30年度		最終目標/ 31年度以降
	取組工程 (具体的な内容)	計画	実績	計画	実績	
	学校施設の長寿命化指針を策定	整備計画の点検、実施	整備計画の点検、実施	長寿命化指針の考え方を反映した整備計画の作成(見直し)	長寿命化指針の考え方を反映した整備計画の作成(見直し)	整備計画の点検、実施
指標	長寿命化指針の策定	整備計画の点検・実施	整備計画の点検・実施	整備計画の点検・実施	整備計画の点検・実施	整備計画の点検・実施

進捗管理	(各年度10月に実施)		平成29年度		平成30年度	
	取組の状況	上半期 (4~9月)	・学校施設長寿命化実施計画の優先度評価の検証・見直し。 ・H30年度実施対象校の抽出とH30予算要求の反映。	予定通り進捗	・学校施設長寿命化実施計画の優先度評価の見直し。 ・H31年度実施対象校の抽出とH31予算要求の反映。	予定通り進捗

年度評価	(年度終了後に実施)		平成29年度		平成30年度	
	取組工程、指標に対する評価		・点検実施により、計画的に長寿命化を推進することができた。	B	・点検実施により、計画的に長寿命化を推進することができた。	B
課題、今後の方針、改善事項など		・整備計画に基づく事業の実施 ・整備計画の点検や適切な更新		・整備計画に基づく事業の実施 ・整備計画の点検や適切な更新		

計画期間の評価	計画期間の評価			平成31年度以降
	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)	長寿命化指針の考え方を反映し、大規模改造事業の予算要求及び事業化することができたことから、計画通りの指標となった。		B
課題、今後の方針、改善事項など	学校施設の老朽度を判定するための現地調査を実施し、長寿命化を図るべき施設の選定を更新していくことが求められる。			各学校施設の現況を再度調査し、適宜整備計画の見直しをすることで、実効性の高い計画としていく。